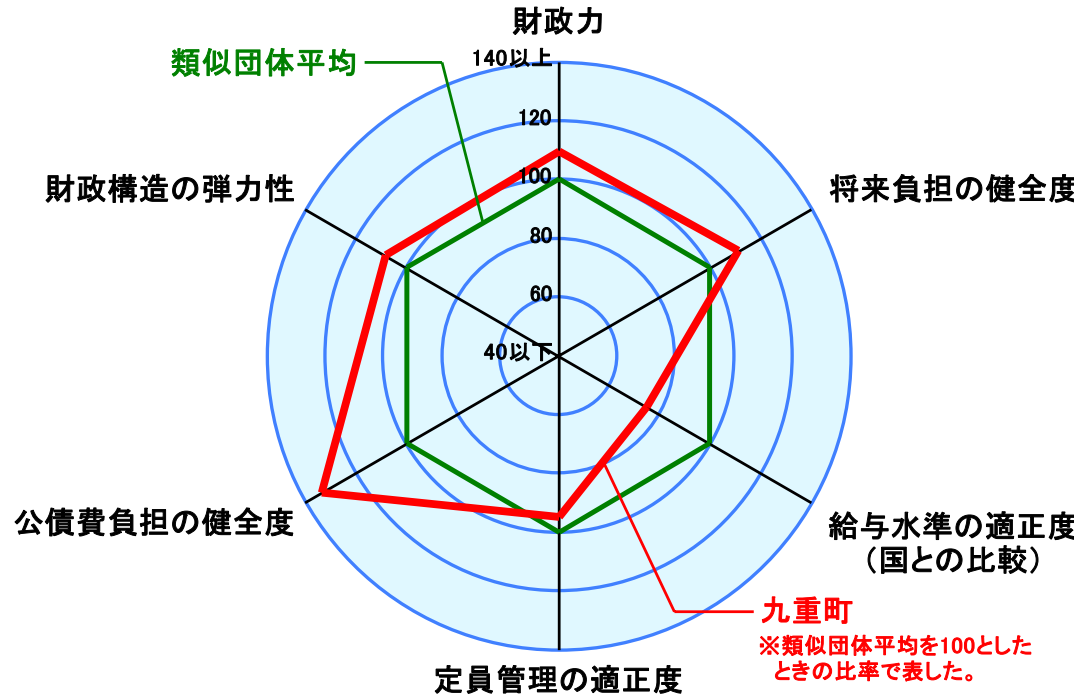
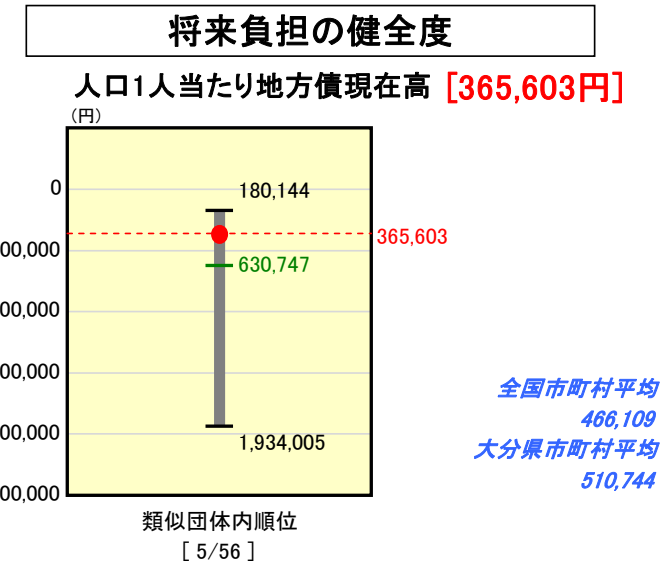
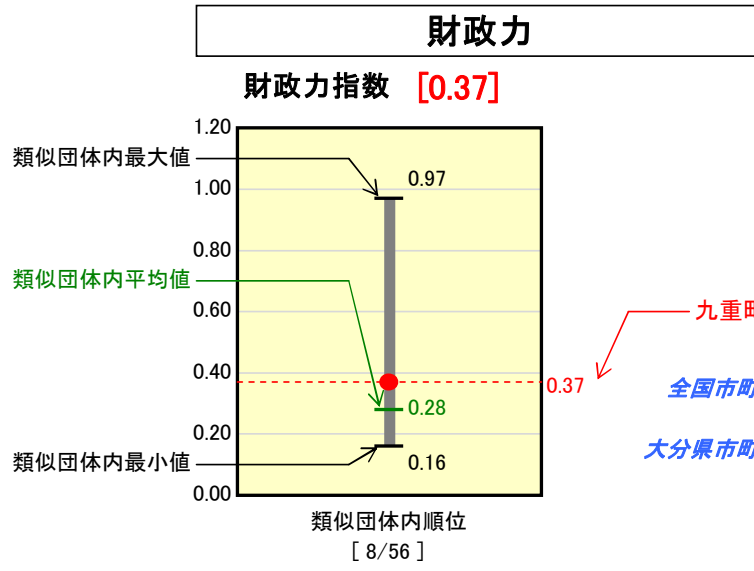


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

大分県 九重町

人口	11,660人(H17.3.31現在)
面積	271.41 km ²
歳入総額	7,027,278千円
歳出総額	6,629,835千円
実質収支	190,365千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数** : 固定資産税のうち大型企業の占める割合が高いことが平均を上回っている。個人税等の伸び悩みや企業の新規設備投資が望めないことから低下する見込である。
- 経常収支比率** : 平成8年度から実施した行政改革の効果や公債費に關係する経費が低いことにより、全国平均及び大分県平均をともに下回っているが、今後も地方税・地方交付税等の減少により悪化する見込であり、更に集中改革プランに沿った行政改革により歳出の削減に努める。
- 起債制限比率** : 後年度財政負担軽減対策として、単独事業に係る起債の繰上償還を実施したこと及び計画的な起債事業実施がマイナスの要因となっているが、近年の大型事業の実施により残高が増加するため、今後、起債の抑制に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高** : 起債の繰上償還及び計画的な起債事業実施により公債費の抑制が図られた。大型事業実施により残高が増加するが、今後、起債の抑制に努める。
- ラスパイレス指数** : 平成17年7月より職員給料2%カットを実施済み。更に、18年4月より3%上乗の5%カット及び各種手当の見直しを実施し抑制に努めている。
- 人口1000人当たり職員数** : 九重町自律推進計画及び集中改革プランの定員管理に基づき、職員数を平成22年4月142人、平成27年4月126人を目標数値とし、人口1,000当たり職員数を平成22年に12.2人、平成27年に10.8人とするよう職員削減に努める。

